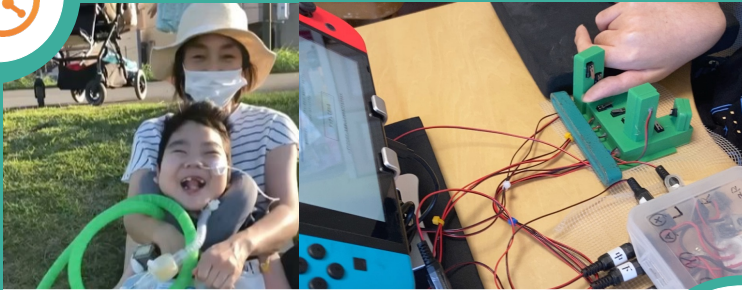


ニーズ・シーズマッチング交流会2023  
ニーズ・シーズマッチング地域交流会 in 和歌山



医療的ケアが必要な方、子どもの可能性を広げる支援機器を考える  
～困りごとの解決からやりたいことへの挑戦の一步まで～

座長 小林 大作（株式会社アシテック・オコ/作業療法士）  
副座長 神崎 和紀（たぶせ在宅クリニック/神経内科専門医）



1

和歌山会場



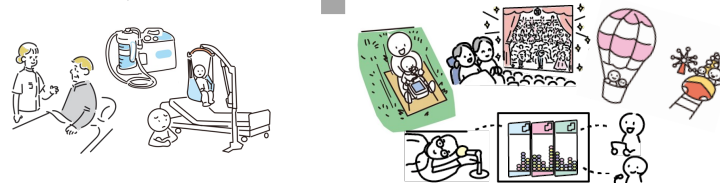
参加者 **46名**

- ・ 当事者、ご家族
- ・ 医師、看護師、保健師
- ・ リハ専門職（PT/OT/ST）
- ・ 特別支援学校教諭
- ・ 社会福祉士
- ・ 介護支援専門員
- ・ 行政機関職員
- ・ シーズ側、記者、など

2

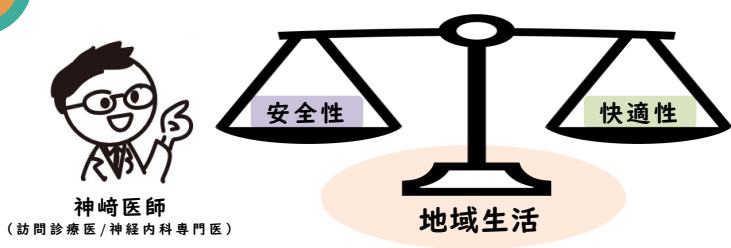
交流会でのポイント

療養生活 + 療養生活



医療技術・テクノロジーの発展で療養生活に変化

3



神崎 医師  
（訪問診療医/神経内科専門医）

医学的な正解 ≠ 本人・家族の希望

4

議論されたテーマ

- コミュニケーション
- 移動・外出
- 災害対策
- 生活の中の具体的な困りごと



5

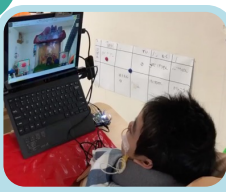
コミュニケーション



それぞれの子供の成長のペースに合わせた  
コミュニケーションを積み上げられる仕組み

6

重度の障害を有するお子さん



視線入力



スイッチ入力



モーション  
キャプチャー

対象児の視線や小さな動きを入力として使用

因果関係理解や能動的動きが難しいお子さんの  
支援者が感じる小さな変化を捉えづらい

支援機器の現状

7

それぞれのお子さんのペースに合わせて学習

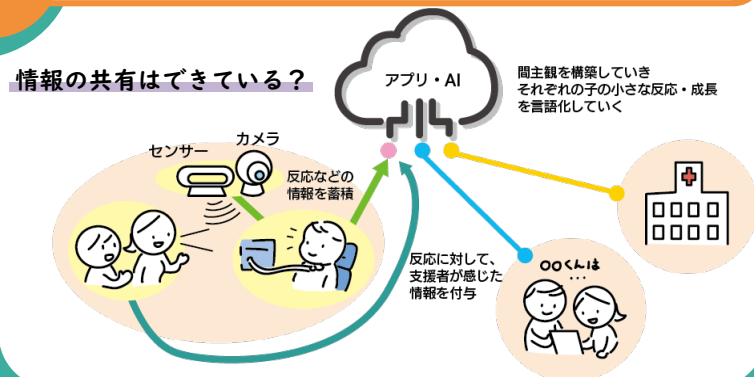


対象児の発達の情報を積み重ねる  
それぞれの発達段階・興味に合わせた学習

支援機器の現状

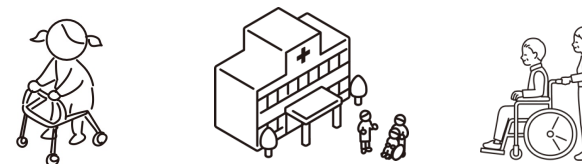
8

## 間主観の情報の積み重ね・適切な学習環境



9

## 移動・外出



移動・外出の目的とは何？

それぞれの取り組む活動で彩られる

10

## どんな機能・何を使うか？ではない



実際にどのような支援機器が必要かは、  
対象児（者）の生活世界を知ることが大切

## 対象児（者）が取り組む活動に何が必要か

11

## 個別のニーズを捉え、支援機器の顧客を分析



- ・わずかな力に反応してアシスト
- ・一歩出すと音が鳴る

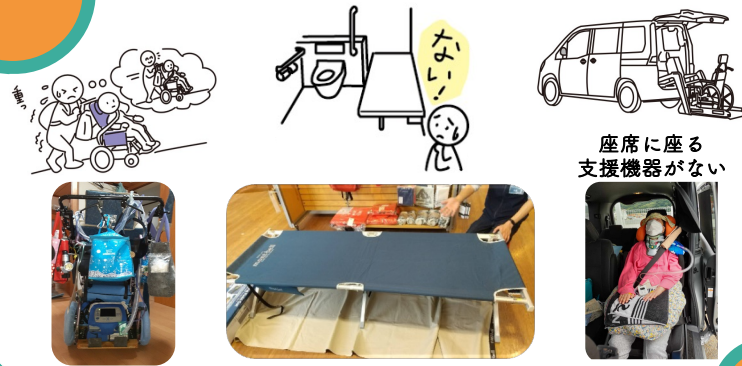
- ・学校でのイベントを想定
- ・屋外など積極的な外出を想定



## 対象児（者）が取り組む活動に何が必要か

12

個別のニーズを捉え、支援機器の顧客を分析



座席に座る  
支援機器がない

対象児（者）が取り組む活動に何が必要か

13

より深く地域社会を想定したニーズの把握



移動先は、自宅・医療機関・訓練室だけでなく  
さまざまな地域生活の場面が想定されることで  
その活動が促進されるはず

14

災害対策



南海トラフ地震をはじめとする大規模災害時の対策  
自宅・学校等での避難するための移動介助が課題

15



- ・ 介助者の人力、経済的な問題等が大きい
- ・ 本当のニーズと支援機器が不適合もある
- ・ 万が一の時のために配備は難しい

16

**完璧を求めると難しい可能性も**



- ・ 垂直避難ができれば良い
- ・ 非力な女性でも操作ができる
- ・ 自宅に配備できる価格設定
- ・ 擦り傷などは許容（命が優先）

災害時に**命を守る**を最優先に考える  
その上で機能や構成を絞り、自宅配備ができる価格が理想

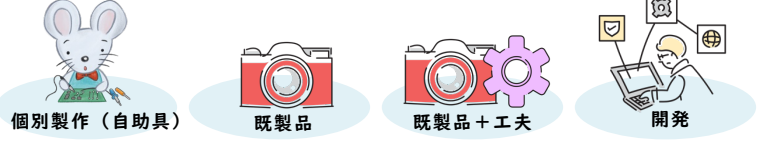
17

**生活の中の具体的な困りごと**



言語化できるニーズ

潜在化しているニーズ



個別製作（自具具）      既製品      既製品＋工夫      開発

18

**当事者と専門職でニーズを言語化していく**



NKアーム  
カニューレを引っ張ることなく  
背上げが可能

SA&AE3  
スリングシート内の  
ネックカラー

KAYA（蚊簾）

さまざまな工夫から標準化できるニーズを探す

19

**中間ユーザーがしっかりと役割を担う**



エンドユーザー  
当事者・家族

中間ユーザー  
医師、看護師、教諭  
作業療法士、など

メーカー  
開発者

困りごとと工夫を蓄積し製品開発へと

20



21

障害のある方 × テクノロジー

活動

テクノツール社ら  
ドローン アクセシビリティ プロジェクト



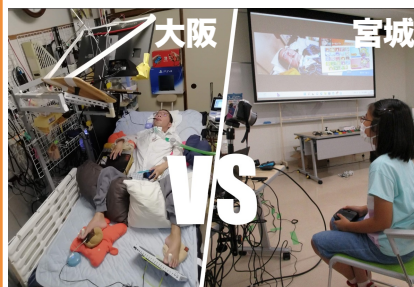
重度身体障害者が  
視線入力でドローン操作

地域社会×活躍する機会

22

障害のある方 × テクノロジー

活動



地域社会×活躍する機会

24

Point ! 支援者も含めたデジタル・ディバイド

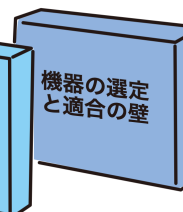
経験していないことは言語化できない

そのままでは  
身体に合わない

何ができるか  
わからない

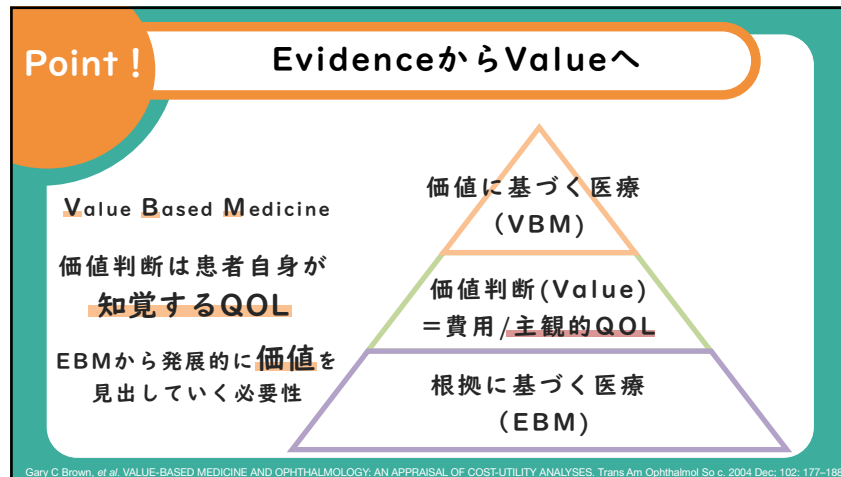


支援したい  
ことがわか  
らない



試せる場所がない

25



26



27